

2023年度 シラバス原簿						タイトル	講義内容と事前事後学習内容				
科目名 英語名	大学院特別講義「現代社会を知る」 Lectures of special courses of Graduate School ～Concerning Modern Society～					1 週	ガイダンス	<p>事前 2.5hr シラバスの内容を読んでおく、自分が千葉工業大学に入学しようと思った動機を振り返り、まとめておく。</p> <p>授業、講師、成績判定の方法等を説明する。後半は、世界の中で日本が置かれている現状について概観する。【講義担当:小宮一仁学事顧問(元千葉工業大学学長)】(対面)</p> <p>事後 2.5hr 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。</p>			
	科目 担当者	小宮 一仁					2 週	港湾の国際競争力について考える	<p>事前 2.5hr 第4次産業革命について調べて、まとめておく。</p> <p>島国である日本は国の発展を国際物流に依存しているといっても過言ではなく、国際物流における日本のプレゼンス確保は極めて重要な政策課題である。このような観点から、国際物流を通して日本と世界を俯瞰し、如何にして日本がリーダーシップを発揮していくべきかについて考察する。【講義担当:菊地身智雄特別教授(元国土交通省技監)、小宮一仁学事顧問(元千葉工業大学学長)】(オンデマンド)</p> <p>事後 2.5hr 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。</p>		
開講学期		時間数	単位数	科目の区分	曜日時間	履修制限		3 週	海洋分野におけるカーボンニュートラルについて考える	<p>事前 2.5hr 再生可能エネルギーは今後の主力電源と位置付けられており、カーボンニュートラルを実現する大きな柱となっている。特に、洋上風力発電は大規模化等による発電コストの低減も期待されており、日本において本格導入が始まった。我が国において今後大きな発展が予想されている洋上風力発電を軸に現代社会を考えていきたい。【講義担当:菊地身智雄特別教授(元国土交通省技監)、小宮一仁学事顧問(元千葉工業大学学長)】(オンデマンド)</p> <p>事後 2.5hr 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。</p>	
4・6学期	2	2	選択	木曜日7・8限	特になし	4 週	現代における自由とは何か(1)		<p>事前 2.5hr J.S.ミルの「自由論」について調べ、まとめておく。</p> <p>現代社会において、「自由」はあらゆる場面で問われている。人権や表現の自由。人間の課題である「自由」の問題、このことを現代に向けて提案したのは、19世紀のイギリスの思想家J.S.ミルの「自由論」であった。ミルの「自由論」を解説して自由とは何かを考える。【講義担当:土屋豊一郎特別教授(前明治大学学長)、小宮一仁学事顧問(元千葉工業大学学長)】(対面)</p> <p>事後 2.5hr 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。</p>		
目的	<p>[目的] 大学院生の知識・教養を高めるとともに、現代社会における社会問題・時事問題の背景や本質を理解し、問題解決のための考え方、手法を知ることによって、問題解決能力を向上させることを目的とする。</p> <p>[授業概要] 学事顧問及び特別教授が、社会問題・時事問題の事例を取り上げ講義を行う。講義に関連して、問題解決のための課題を出題し、課題を解くことによって問題解決能力の向上をはかる。</p>						課題解決型	<input checked="" type="checkbox"/>			
	グループワーク	<input type="checkbox"/>	ディスカッション	<input checked="" type="checkbox"/>	ディベート	<input type="checkbox"/>	プレゼン	<input type="checkbox"/>	課題演習	<input checked="" type="checkbox"/>	フィールドワーク
注意事項・ 学習アドバイス	<p>※対面形式とオンデマンド配信を併用します。対面形式の授業かオンデマンド配信の授業かは、現在の予定を講義内容の欄に記載してありますが、変更がある場合は前回の授業終了までにお知らせします。</p> <p>※この科目は寄付講座ですので、担当講師は千葉工業大学学事顧問及び千葉工業大学特別教授となります。講義に関するお問い合わせは、教務課に連絡して下さい。</p>					5 週	第四次産業革命期の日本の雇用のあり方を考える	<p>事前 2.5hr 入試から、大学での授業、大学生活を振り返って、それが自分の将来に役に立つかどうかを考えておく。</p> <p>第4次産業革命によって世界は大きく変化しようとしている。特にICTの発展により、人々の働き方に大きな変化が生じている。勤労感謝の日の今日、現在、また将来の、人々の働き方の変化について講義し、日本における課題について考察する。【講義担当:小宮一仁学事顧問(元千葉工業大学学長)】(対面)</p> <p>事後 2.5hr 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。</p>			
	到達目標	<p>・自分が学んでいる専門分野と現代社会の動向を結びつけて考えることができる。</p> <p>・工学分野が現代社会と強い関係性にあることを理解し、その一例を説明することができる。</p>					6 週	戦争領域の変化と科学技術(1)	<p>事前 2.5hr リーダーシップの概念について調べ、まとめておく。</p> <p>日本の歴史的、地政学的な位置付けを理解し科学技術と日本の安全保障戦略の関係を理解するための必要な事項を講義する。【講義担当:岩村公史特別教授(元陸特)、小宮一仁学事顧問(元千葉工業大学学長)】(オンデマンド)</p> <p>事後 2.5hr 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。</p>		
評価基準		<p>期末試験 0% 中間試験 0% 小テスト(0回)0% 提出物(1回)100% プレゼン(0回)0%</p>						7 週	戦争領域の変化と科学技術(2)	<p>事前 2.5hr 歴史上で強いリーダーシップを持っていると感じる人物を選び、その業績をまとめておく。</p> <p>日本の歴史的、地政学的な位置付けを理解し科学技術と日本の安全保障戦略の関係を理解するための必要な事項を講義する。【講義担当:岩村公史特別教授(元陸特)、小宮一仁学事顧問(元千葉工業大学学長)】(オンデマンド)</p> <p>事後 2.5hr 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。</p>	
	関連科目	なし					8 週		新型コロナウイルス感染症に関連した政策の有効性等を考える	<p>事前 2.5hr 日本の財政制度について調べて、まとめておく。</p> <p>財政の基本的な仕組みを理解した上で、日本の財政制度、予算制度や財政の現状を諸外国、主に米英と比較する。そして、新型コロナウイルス感染症に関連した政策の有効性等について考察する。【講義担当:田代政司特別教授(元会計検査院事務総長)、小宮一仁学事顧問(元千葉工業大学学長)】(オンデマンド)</p> <p>事後 2.5hr 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。</p>	
参考書・参考資料等		必要な場合は授業で提示する。						9 週	国の契約制度を理解した上で、会社の戦略を考える	<p>事前 2.5hr 日本の社会保障制度の構造について調べて、まとめておく。</p> <p>国の契約を例に、(1)公共調達契約、(2)予定価格、(3)競争参加資格等を理解し、競争参加に必要な検討課題をあげ、更に具体的などのように検討するかについて考える演習を行う。【講義担当:田代政司特別教授(元会計検査院事務総長)、小宮一仁学事顧問(元千葉工業大学学長)】(対面)</p> <p>事後 2.5hr 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。</p>	
	10 週	現代における自由とは何か(2)	<p>事前 2.5hr 前回の授業の内容を参考に、J.S.ミルの「自由論」について更に調べ、まとめておく。</p> <p>J.S.ミルの「自由論」のもっともスキャンダラスな部分は当時の新興宗教であったモルモン教を、自由の問題として擁護したことである。このことに注目して、現代における宗教の自由とは何か。そしてその背景にあった同性愛の自由について考えよう。【講義担当:土屋豊一郎特別教授(前明治大学学長)、小宮一仁学事顧問(元千葉工業大学学長)】(対面)</p> <p>事後 2.5hr 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。</p>								
11 週		国際関係論の基礎を学ぶ	<p>事前 2.5hr 日中関係、日韓関係について調べ、まとめておく。</p> <p>今日の日本が政治的、経済的、文化的に国際社会と密接に結びついているかについて理解を深める。また、そもそも国家や国民とは何か、これらを規律する国際法の基本原則は何かを理解し、我々が国際法のルールの下に生きていることを理解する。また、日中関係および日韓関係の現状と課題について国際法の視点から考察する。【講義担当:清水武則特別教授(元モンゴル国駐節特命全権大使)、小宮一仁学事顧問(元千葉工業大学学長)】(対面)</p> <p>事後 2.5hr 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。</p>								
	12 週	日韓関係の現状と課題～国際法の視点から	<p>事前 2.5hr ウクライナ問題で見た国際法の限界について調べ、まとめておく。</p> <p>国連、国際司法裁判所など国際社会の平和と正義の維持の装置の内容とそれらの機能の限界を知り、「今」の不安定な国際社会をどう日本が生き延びていけるかを考える。同時に現在進行中のロシアのウクライナ侵襲など現実起こっていることと重ね合わせて、「平和」の問題を検討する。【講義担当:清水武則特別教授(元モンゴル国駐節特命全権大使)、小宮一仁学事顧問(元千葉工業大学学長)】(オンデマンド配信)</p> <p>事後 2.5hr 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。</p>								
13 週		東アジア情勢と日本の政治の行方	<p>事前 2.5hr マスメディアの役割について調べて、まとめておく。</p> <p>日々刻々と変化する政治情勢やそれを伝える報道の基本的な仕組みについて特に日本を含む東アジアの情勢について講義する。また、世界の中で日本が置かれている状況や、日本の政治に求められている役割についても触れる。【講義担当:石橋文登特別教授(元産経新聞編集局長次長・政治部長)、小宮一仁学事顧問(元千葉工業大学学長)】(対面)</p> <p>事後 2.5hr 講義内容を復習し、興味を持った内容をまとめておく。</p>								